

第26回 9人制道央大会

平成22年8月8日(日) 札幌市美香保体育館

大会会長：吉川 貴盛
 大会委員長：高橋 克徳
 競技委員長：佐藤 充昭
 審判委員長：別所 拓哉
 総務委員長：津田 良二

【男子の部】

優勝
 SAN♡AI(南幌町)
 (初優勝)

予選1位
BATTLE
 予選2位
SAN♡AI

《決勝》

21	-	14	A
2	23	-	21
			0
			6

戦評(9人制男子決勝戦)強豪チーム同士の対決となった決勝戦の第1セット、序盤は互いに譲らず接戦となるが、SAN-AIは4番福田の神業から流れを掴み、一気にリードを広げこのセットを21-14と先取る。2セット目も立ち上がりSAN-AIは11番濱田の負傷による退場があったが、1セット目を先取した勢いで一気にリードを広げる。BATTLEも必死に粘り応戦するが、SAN-AIが最後振り切って23-21と連取し初優勝を飾った。

《予選》

1	郵政札幌	1勝1敗
2	SAN♡AI	2勝0敗
3	ちーむアサキチ	0勝2敗
4	BATTLE	2勝0敗
5	ひだかごろうず	0勝2敗

21	-	16	A
2	21	-	18
			0
			1
21	-	6	A
2	12	-	21
			1
			4
21	-	16	A
2	21	-	17
			0
			2
21	-	8	A
2	21	-	15
			0
			5

【女子の部】

優勝
 BATTLE(札幌市)
 (4年ぶり2回目)

予選1位
BATTLE
 予選2位
 札幌市役所

《決勝》

23	-	21	B
2	21	-	16
			0
			6

戦評(9人制女子決勝戦)両チームとも予選をストレートで順当に勝ち上がってきた決勝ラウンド、1セット目序盤からお互い両サイドの攻撃を軸に点数を譲らない展開から始まる。中盤から徐々にBATTLEがリードを広げた後半、5点差を札幌市役所12番坂元のサーブで追いつきデュースに持ち込むが、BATTLEも攻守の流れを切らさず粘りこのセットを23-21と先取る。2セット目もお互い変わらず粘り合いが続く。それでもBATTLEが1~2点リードを後半徐々に広げて21-16と連取し4年ぶり2回目の優勝を飾った。

《予選》

1	BATTLE	2勝0敗
2	札幌クラブ	0勝2敗
3	ビリーブ	1勝1敗
4	札幌市役所	2勝0敗
5	DOLPHIN	0勝2敗

21	-	11	B
2	21	-	6
			0
			1
21	-	10	B
2	21	-	10
			0
			4
21	-	8	B
2	21	-	12
			0
			2
21	-	13	B
2	21	-	5
			0
			5

【4号球の部】

優勝
 フェニックス(石狩市)
 (2年ぶり3回目)

予選1位
フェニックス
 予選2位
 札幌クラブG

《決勝》

21	-	18	C
2	21	-	11
			0
			6

戦評(女子4号球決勝戦)1セット目は中盤まで接戦であったが、フェニックスは11番上原のサーブエースで点差を広げ21-18で先取した。2セット目に入ると勢いのあるフェニックスは11番上原に7割以上のボールを集めことごとく決めるとともに、12番吉田のセンター攻撃も決まり21-11で快勝しセットカウント2対0でフェニックスが2年ぶり3回目の優勝を飾った。

《予選》

1	ZERO	0勝2敗
2	フェニックス	2勝0敗
3	北野クラブ	0勝2敗
4	札幌クラブG	2勝0敗
5	爽和クラブ	1勝1敗

21	-	17	C
2	21	-	11
			0
			1
21	-	12	C
2	21	-	16
			0
			4
21	-	14	C
2	21	-	19
			0
			2
16	-	21	C
2	21	-	16
			1
			5

【成績結果】

男子の部 優勝 SAN♡AI (南幌町)
 女子の部 優勝 BATTLE (札幌市)
 4号球の部 優勝 フェニックス (石狩市)

準優勝 BATTLE (札幌市)
 準優勝 札幌市役所 (札幌市)
 準優勝 札幌クラブG (札幌市)

3位 郵政札幌 (札幌市)
 3位 ビリーブ (札幌市)
 3位 爽和クラブ (江別市)